

2012年度第1四半期（2012年1月～3月）連結決算短信

会社名	アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所属部	東証市場第一部
決算期	本決算：年1回（12月） 中間決算：四半期毎
問い合わせ先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門田 正行

1. 本国における決算発表日： 2012年4月24日（火曜日）

2. 業績

	第1四半期（1月～3月の3ヶ月間）			累計額（1月～3月の3ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 6,240	百万ドル 5,117	% 21.9	百万ドル 6,240	百万ドル 5,117	% 21.9
税引前当期純利益	百万ドル 1,202	百万ドル 591	% 103.1	百万ドル 1,202	百万ドル 591	% 103.1
当期純利益	百万ドル 785	百万ドル 389	% 101.5	百万ドル 785	百万ドル 389	% 101.5
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.68	ドル 0.83	% 102.4	ドル 1.68	ドル 0.83	% 102.4
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.68	ドル 0.83	% 102.4	ドル 1.68	ドル 0.83	% 102.4

配当金の推移		
	当年度（2012年度）	前年度（2011年度）
第1四半期	0.33 ドル	0.30 ドル
第2四半期		0.30
第3四半期		0.30
第4四半期		0.33
合計	0.33 ドル	1.23 ドル

（注）原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート部
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は2012年度第1四半期の業績を発表

日本社の販売見通しを上方修正

2012年度第2四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2012年4月24日

Aflac Incorporated(以下、「当社」)は本日、2012年度第1四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安の恩恵を受け、前年同期の51億ドルから21.9%増加し、62億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の3億8,900万ドル(希薄化後1株当たり0.83ドル)から7億8,500万ドル(希薄化後1株当たり1.68ドル)となりました。

当リリース内の過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に係る費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われています。

前年同期の当期純利益には3億7,600万ドル(希薄化後1株当たり0.79ドル)の税引後資産運用実現損(実現益とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、2,900万ドル(希薄化後1株当たり0.06ドル)の税引後資産運用実現損(同ネット)が含まれていました。当四半期の有価証券の売却及び償還による税引後資産運用実現益(ネット)は5,100万ドル(希薄

化後 1 株当たり 0.11 ドル) でした。この利益は主として、すでに減損処理をしていた 1 銘柄の永久証券の償還と、リスク低減計画に伴い、売却価格が 2011 年 12 月 31 日時点の減損後の価格をわずかに上回った複数の有価証券を処分したことによるものです。当四半期の減損による税引後資産運用実現損(ネット)は、1 億 3,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.28 ドル) でした。この損失は主として、当四半期終了後に売却された Tier I 証券 2 銘柄の減損によるものです。当四半期のデリバティブによる税引後資産運用実現益(ネット)は 5,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.11 ドル) でした。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他の非経常的損益を除外した、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動には、通貨スワップ、金利スワップ、連結変動持分事業体におけるクレジット・デフォルト・スワップ及び当社が発行する優先社債に関連する為替スワップが含まれます。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響し、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたって事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、限られた取引を除いて、実際の取引で円をドルに両替することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的に利用するものであって、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の事業利益は前年同期の 7 億 6,500 万ドルから 8 億 1,400 万ドルとなりました。希薄

化後1株当たり事業利益は前年同期の 1.62ドルから 7.4%増加し、1.74ドルとなりました。当四半期のリスク低減活動の一環として交渉した結果、すでに償却されていた繰延利息を一括して回収したことにより、事業利益は、投資収益の増加分として、2,300 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.05ドル)の恩恵を受けています。

為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 0.04ドル押し上げられました。円高の影響を除いた 1 株当たり事業利益は 4.9%の増加となっています。

株主持分は、2011 年 12 月 31 日現在が 129 億ドルであったのに対し、2012 年 3 月 31 日現在では 136 億ドルでした。株主持分に含まれている保有有価証券及びデリバティブに係る未実現利益(ネット)は、2011 年 12 月 31 日現在が 12 億ドルであったのに対し、2012 年 3 月 31 日現在では 14 億ドルでした。1株当たり株主持分は、2011 年 12 月 31 日現在が 27.76ドルであったのに対し、2012 年 3 月 31 日現在では 29.19ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 23.6%でした。事業ベース(資産運用実現損、デリバティブ損益による当期純利益への影響、株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブの未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で 27.1%でした。

当社は、2012 年 1 月 1 日付で、保険契約の獲得及び更新に関する費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を採用しました。この修正された会計基準は、繰延新契約費に相当する費用の認識において、実務上の多様性があることに対処するものです。この新基準を遡及適用した結果、2010 年 12 月 31 日現在の利益剰余金に対する税引後の累計影響額(利益剰余金の減少額)は、4 億 800 万ドル(同日付の調整後株主持分の 3.9%)となりましたが、2011 年及びすべての過年度の純利益に対しては、大きな影響を与えませんでした。この会計基準は、法定会計には適用されず、また、当社のリスク・ベース自己資本あるいは親会社の流動性ポジションに影響を与えることもありません。

日本社

円ベースで見ると、当四半期の日本社の収益合計は前年同期に比べて 7.8%増加しました。保険料収入は 7.8%、投資収益(ネット)は 8.7%増加しました。投資収益の増加は、

前述した繰延利息回収の恩恵を受けています。当四半期の税引前事業利益率は、事業費率の低下と一部相殺されたものの、保険金給付金比率の上昇を反映して、前年同期の 22.3% から 21.3% に低下しました。円ベースでの税引前事業利益は 3.2% の増益となりました。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期が 1ドル＝82.32 円であったのに対し、3.4% 円高ドル安の 1ドル＝79.59 円でした。当四半期の日本社のドルベースでの諸成長率は、平均為替レートが前年同期に比べ円高ドル安であったため、押し上げられました。

ドルベースで見ると、円高ドル安を反映して、当四半期の保険料収入は 12.0% 増加し、41 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 12.5% 増加し、7 億 3,000 万ドルとなりました。収益合計は 12.0% 増加し、49 億ドルに、税引前事業利益は 6.8% 増加し、10 億ドルとなりました。

日本社は、当四半期も大きな販売成長を遂げました。新契約年換算保険料は、53.8% 増の 524 億円(6 億 5,900 万ドル)となりました。金融機関窓販は引き続き非常に好調で、当四半期の新契約年換算保険料は、前年同期比 208.9% 増の 243 億円となりました。ユニークなハイブリッド型終身保険「WAYS」の当四半期の販売は、前年同期に比べ 283.4% 増加しました。また、1 年前に発売されたがん保険の新商品「Days」の販売が引き続き順調だったことにより、当四半期のがん保険の販売は前年同期に比べて 14.2% 増加しました。日本社は、1 月末に改良した医療保険を発売しましたが、生活者の反応は良好です。

米国社

当四半期の米国社の収益合計は 5.2% 増の 14 億ドルとなりました。保険料収入は 5.2% 増加し、12 億ドルに、投資収益(ネット)は 5.5% 増加して 1 億 5,200 万ドルとなりました。税引前事業利益率は、主として事業費率の低下により、前年同期の 19.1% から 19.6% に上昇しました。税引前事業利益は 8.1% 増の 2 億 7,100 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、4.5% 増加し、3 億 5,100 万ドルとなりました。当四半期の堅調な販売には、ブローカーチャネルが貢献しています。米国社は当四半期、大口職域市場向けに販売を行う全国規模のブローカーとの関係を構築しました。さらに、当四半期の米

国社の継続率は、前年同期の73.0%から74.7%に向上しました。

現金配当

取締役会は、2012年第2四半期の現金配当を宣言しました。第2四半期の現金配当は1株当たり0.33ドルで、2012年5月16日の市場終了時点の登録株主に対し、2012年6月1日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「2012年第1四半期の業績全般には満足しています。日本社は、当四半期も大きな実績を挙げました。当四半期も、主として金融機関窓販の成功が、販売の勢いを大きく加速させました。日本社の新契約年換算保険料は、3四半期連続で過去最高記録を更新しました。さらに重要なことは、私たちは第1四半期の実績から、日本社が今年も販売を伸展させることができると確信していることです。その結果、従来、対前年比減少するとしていた日本社の通年の販売成長率の予測を、対前年比10%増に上方修正いたします。」

「私たちはまた、当四半期の米国社の業績についても喜ばしく思っています。米国経済が依然として難題を抱えているにもかかわらず、当社は引き続き大企業・中小企業の従業員との接点の拡大に注力しています。ご記憶のことと思いますが、当社は大口市場を取り扱うブローカーとの関係を構築し、発展させてきています。ブローカー施策はまだ始まったばかりですが、私たちは、このチャンネルが当社の将来の成長のために与えてくれるチャンスに期待しています。」

「投資ポートフォリオについては、欧州の金融機関が発行した劣後債及び永久債へのエクスポージャーの削減が順調に進んでいることに非常に満足しています。2011年度第4四半期の業績発表の際に申し上げたとおり、欧州向けのエクスポージャーをさらに削減することによって、投資の分散と信用状況の改善を図ることが当社の目標です。当社はこの計画の遂行において、大きな成果をあげています。当社は、2011年12月の初めから、欧州へのエクスポージャーを、帳簿価格で1,500億円削減することを目標としていますが、当四半期終了後に行った数銘柄の処分を含め、

すでに1,300億円以上を処分しています。当社は依然として欧州を投資リスクの中心となる地域と見っていますが、私は、当社のポートフォリオが、将来の市場ボラティリティーに対応できる内容になっていると確信しています。」

「さらに私は、当社のグローバルな投資能力を高めるための戦略に関する調査結果にも励まされています。この調査は、当社が世界的な水準の投資機関になるという目標を達成するための第一歩となっています。当社は、本年度も1株当たり事業利益の目標達成に注力しています。一方、リスク低減活動の成功には、繰延利息の回収も含まれますが、その資金は、投資業務に関する極めて重要なグローバルな取り組みを加速させることとなります。私は、当社の投資部門、投資プロセス及びインフラの強化を通じて、大きなキャッシュフローをより多様で質の高い投資ポートフォリオで運用し、より魅力的なリターンをもたらすことができると確信しています。」

「当社の自己資本規制比率の水準は、ご契約者及び社債保有者の皆様のために財務力を維持するという当社のコミットメントの表れです。私たちは、リスク・ベース自己資本比率(RBC比率)が大きく上昇したことを非常に喜ばしく思っています。過去数年にわたってお伝えしているとおり、強力なRBC比率を維持することは依然として当社の優先課題です。当四半期の法定会計基準に基づく財務諸表はまだ完成していませんが、第1四半期末のRBC比率は、500%から540%の間に収まると予想しています。さらに、私たちは、日本社のソルベンシー・マージン比率は2011年末に比べて大きく上昇すると予想しています。」

「全体的に見て、私は、今年度もアフラックにとって素晴らしい1年になると思っています。また、私たちの目の前にある成長のチャンスにも期待しています。第1四半期を終えて、私たちは引き続き、今年も堅調な財務業績を残すことのできるポジションにいるものと確信しています。私たちは、新しい繰延新契約費の会計基準の適用が1株当たり利益に与える影響を、およそ0.05ドルと予想しているものの、依然として為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益が6.46ドルから6.65ドルの間になるものと考えています。この水準は、当初、対前年比2%から5%増としていた2012年の利益成長目標が、繰延新契約費に対する会計処理の変更に伴う修正を踏まえて、対前年比3%から6%増に変更されたことを示しています。私たちはこの1株当たり利益目標が妥当かつ達成可能であると確信しており、2013年も引き続き利益が増加するものと期待しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。過去 55 年以上、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売における No.1 の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第 1 位の生命保険会社です。世界で 5,000 万人以上の方が当社の保険に加入しています。『Ethisphere』誌は 6 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に、また、『フォーブス』誌は、当社を保険業界における「米国で最も良い経営が行われている会社」に選出しています。2012 年、『フォーチュン』誌は当社を 14 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、11 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出しています。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカーシンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 及び espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement)、金融セクターに対する全運用資産の一覧表及び永久証券及びユーロ圏周辺国の有価証券におけるソブリン債及び金融機関債への投資の一覧表は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様様を 2012 年 4 月 25 日水曜日午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2012年	2011年	増減率
収益合計	6,240	5,117	21.9%
保険金給付金	3,646	3,222	13.2%
新契約費及び事業費合計	1,392	1,304	6.8%
税引前当期純利益	1,202	591	103.1%
法人税等	417	202	
当期純利益	785	389	101.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.68	0.83	102.4%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.68	0.83	102.4%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	465,887	468,012	-0.5%
希薄化後	468,533	472,104	-0.8%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.33	0.30	10.0%

過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に係る費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われている。

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

3月31日現在:

	2012年	2011年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	103,104	88,441	16.6%
繰延新契約費	9,542	8,897	7.2%
その他の資産	2,906	3,015	-3.6%
資産合計	115,552	100,353	15.1%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	93,004	82,491	12.7%
社債等	3,964	3,017	31.4%
その他の負債	4,941	4,335	14.0%
株主持分	13,643	10,510	29.8%
負債および株主持分合計	115,552	100,353	15.1%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	467,463	467,564	0.0%

過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に係る費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われている。

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2012年	2011年	増減率
事業利益	814	765	6.3%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-81	-357	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	52	-19	
当期純利益	785	389	101.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.74	1.62	7.4%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.17	-0.75	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.11	-0.04	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.68	0.83	102.4%

過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に係る費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われている。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2012年3月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	10.4%	7.2%
投資収益(ネット)	11.0%	8.8%
保険金給付金および事業費合計	11.3%	8.1%
事業利益	6.3%	3.7%
希薄化後1株当たり事業利益	7.4%	4.9%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に係る費用(繰延新契約費)に関する会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われている。

2012年1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2011年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
70	\$7.06 - \$7.25	12.6% - 15.6%	\$ 0.60
75	\$6.73 - \$6.92	7.3% - 10.4%	\$ 0.27
79.75*	\$6.46 - \$6.65	3.0% - 6.1%	\$ -
80	\$6.45 - \$6.64	2.9% - 5.9%	\$ -0.01
85	\$6.21 - \$6.40	-1.0% - 2.1%	\$ -0.25

*実際の2011年の年間加重平均為替レート

過年度の数値の一部には、保険契約の獲得又は更新に関する費用(繰延新契約費)に係る会計処理について、修正された会計基準を遡及適用したことによる修正再表示が行われている。

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況一般
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の主観的な決定
- ・未実現損失の実現
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定のセクター又は発行体に対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 情報システムの改善・開発を継続する能力
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 竜巻、ハリケーン、地震、津波及び放射能に関する災害などを含む大惨事
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES FIRST QUARTER RESULTS,
RAISES AFLAC JAPAN SALES OUTLOOK,
DECLARES SECOND QUARTER CASH DIVIDEND**

COLUMBUS, Georgia – April 24, 2012 – Aflac Incorporated today reported its first quarter results.

Reflecting the benefit from a stronger yen/dollar exchange rate, revenues rose 21.9% to \$6.2 billion in the first quarter of 2012, compared with \$5.1 billion in the first quarter of 2011. Net earnings were \$785 million, or \$1.68 per diluted share, compared with \$389 million, or \$.83 per share, a year ago.

Throughout this document, certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

Net earnings in the first quarter of 2012 included after-tax realized investment losses, net of realized investment gains, of \$29 million, or \$.06 per diluted share, compared with net after-tax losses of \$376 million, or \$.79 per diluted share, in the first quarter of 2011. After-tax net realized investment gains from sales and redemptions of securities in the quarter were \$51 million, or \$.11 per diluted share. These gains primarily resulted from both the redemption of a previously impaired perpetual security and liquidations related to our derisking program where sales prices were slightly better than the prices they had been impaired to on December 31, 2011. After-tax net realized investment losses from impairments in the quarter were \$132 million, or \$.28 per diluted share. These losses primarily resulted from impairments taken on two Tier 1 securities that were sold subsequent to the end of the quarter. After-tax net realized investment gains from derivatives in the quarter were \$52 million, or \$.11 per diluted share.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items. Aflac's derivative activities include foreign currency, interest rate and credit default swaps in variable interest entities that are consolidated and foreign currency swaps associated with the company's senior notes. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for a limited number of transactions, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the first quarter were \$814 million, compared with \$765 million in the first quarter of 2011. Operating earnings per diluted share rose 7.4% to \$1.74 in the quarter, compared with \$1.62 a year ago. Operating earnings benefited by \$23 million, or \$.05 per share, from the increase in investment

income brought about by a one-time receipt of a previously written off deferred coupon negotiated as part of our derisking activities in the first quarter.

The stronger yen/dollar exchange rate increased operating earnings per diluted share by \$.04 during the quarter. Excluding the impact from the stronger yen, operating earnings per share increased 4.9%.

Shareholders' equity was \$13.6 billion at March 31, 2012, compared with \$12.9 billion at December 31, 2011. Shareholders' equity at the end of the first quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$1.4 billion, compared with a net unrealized gain of \$1.2 billion at the end of December 2011. Shareholders' equity per share was \$29.19 at March 31, 2012, compared with \$27.76 per share at December 31, 2011. The annualized return on average shareholders' equity in the first quarter was 23.6%. On an operating basis (excluding realized investment losses and the impact of derivative gains/losses on net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 27.1% for the first quarter.

On January 1, 2012, the company adopted revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC). These amended accounting rules are intended to address the diversity in practice regarding which costs qualify as DAC. The retrospective adoption of this accounting standard resulted in an after-tax cumulative charge to the company's retained earnings of \$408 million, or 3.9% of adjusted shareholders' equity, as of December 31, 2010, and had an immaterial impact on net income in 2011 and for all preceding years. This accounting standard is not applicable to the company's statutory reporting, nor will it impact the company's risk-based capital or holding company liquidity position.

AFLAC JAPAN

Aflac Japan's total revenues in yen were up 7.8% in the first quarter of 2012. Premium income in yen rose 7.8%, and net investment income increased 8.7%. Investment income growth benefited from the receipt of a deferred coupon as previously discussed. The pretax operating profit margin decreased from the first quarter of 2011, declining from 22.3% to 21.3%, reflecting a higher benefit ratio partially offset by a lower expense ratio. Pretax operating earnings in yen increased 3.2%.

The average yen/dollar exchange rate in the first quarter of 2012 was 79.59, or 3.4% stronger than the average rate of 82.32 in the first quarter of 2011. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the quarter were magnified as a result of the stronger average yen/dollar exchange rates.

Reflecting the stronger yen, premium income in dollars rose 12.0% to \$4.1 billion in the first quarter. Net investment income was up 12.5% to \$730 million. Total revenues increased 12.0% to \$4.9 billion. Pretax operating earnings rose 6.8% to \$1.0 billion.

Aflac Japan again produced significant sales growth in the quarter. New annualized premium sales rose 53.8% to a record ¥52.4 billion in the first quarter of 2012. In dollar terms, new annualized premium sales were \$659 million. Bank channel sales were again very strong, generating ¥24.3 billion in sales in the first quarter, an increase of 208.9% over the first quarter of 2011. Sales of WAYS, Aflac's unique hybrid whole-life product, increased 283.4% over the first quarter of 2011. Cancer sales in the first quarter were up 14.2%, reflecting continued positive results from the new cancer DAYS product rolled out a year ago. At the end of January, the company introduced an upgraded medical policy, and initial consumer response has been positive.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. total revenues rose 5.2% to \$1.4 billion in the first quarter. Premium income increased 5.2% to \$1.2 billion, and net investment income was up 5.5% to \$152 million. The pretax operating profit margin expanded from 19.1% a year ago to 19.6%, primarily benefiting from a lower expense ratio. Pretax operating earnings were \$271 million, an increase of 8.1% for the quarter.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 4.5% to \$351 million. First quarter sales benefited from strong performance by the broker channel. During the quarter, Aflac made inroads in developing relationships with larger national brokers that sell to the larger-case employer market. Additionally, persistency in the quarter improved to 74.7% from 73.0% a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the second quarter cash dividend. The second quarter dividend of \$.33 per share is payable on June 1, 2012, to shareholders of record at the close of business on May 16, 2012.

OUTLOOK

Commenting on the company's first quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased with our overall results in the first quarter of 2012. Aflac Japan gets high marks for another great quarter. The tremendous sales momentum they again generated this quarter was largely propelled by success in selling through banks. Aflac Japan's first quarter production set an all-time new annualized premium sales record for the third quarter in a row. More importantly, we believe the first quarter has positioned us for another strong year of sales activities in Japan. As a result, we now expect Aflac Japan's full year sales to increase 10%, compared with our previous expectation of a sales decline.

"We are also pleased with Aflac U.S. results for the quarter. Despite challenges that remain in the U.S. economy, we continue to focus on expanding our reach to employees at companies, large and small. You'll recall that we have been establishing and developing relationships with brokers that handle the larger-case market. While this broker initiative is still in the early stages, we are excited about the opportunity this channel presents for future growth.

"With respect to our investment portfolio, we are extremely pleased with our progress in reducing our exposure to subordinated debt and perpetual securities of European financial issuers. When discussing our fourth quarter 2011 results, we stated our objective was to improve our diversification and credit profile by further reducing our exposure to European investments. We have made significant progress executing that plan. From the beginning of December 2011, we liquidated more than ¥130 billion out of the ¥150 billion of book value target we set, which includes several disposals that took place subsequent to the end of the quarter. While we still view Europe as an area of investment risk, I believe our portfolio is better-positioned to accommodate market volatility in the future.

"Additionally, I am encouraged by the initial results from our strategic business review of Aflac's global investment capabilities. This review is certainly a first step on the path to achieving our goal of being a world-class investment organization. The success of our derisking activities included the receipt of a deferred coupon that allows us to accelerate the funding of this critical global initiative, while still achieving our operating earnings-per-share objective this year. I believe the enhancements we're making to our investment team, processes and infrastructure will position us to invest our sizeable cash flows at more attractive returns through a more diversified and high-quality portfolio.

"The level of our regulatory capital ratios demonstrates our commitment to maintaining financial strength on behalf of our policyholders and bondholders. We are very pleased with the significant increase in our risk-based capital, or RBC ratio. As we have communicated over the past several years, sustaining a strong RBC ratio remains a priority for us. Although we have not yet finalized our statutory financial statements for the first quarter, we estimate our quarterly RBC ratio will be between 500% and 540%. We also expect that Aflac Japan's solvency margin ratio, or SMR, improved significantly over year-end 2011.

"Overall, I'm looking forward to another good year for Aflac, and I'm excited for our growth opportunities that lie ahead. With one quarter of the year complete, we continue to believe we are positioned for another year of solid financial performance. Although we expect the new accounting for DAC to impact earnings per share by approximately \$.05, we still expect to produce operating earnings of \$6.46 to \$6.65 per diluted share before the impact of foreign currency translation. This range represents an increase of 3% to 6% over 2011 as restated for the change in DAC accounting compared with our prior 2012 objective of 2% to 5% growth. We believe our earnings-per-share objective for 2012 is reasonable and attainable, and we continue to look for better earnings growth in 2013."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For more than 55 years, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For six consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies and by *Forbes* magazine as one of America's Best-Managed Companies in the Insurance category. In 2012, *Fortune* magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 14th consecutive year. Also, *Fortune* magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 11th time in 2012. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com, as well as a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial sector along with separate listings of the company's sovereign and financial investments in both perpetual and peripheral Eurozone securities.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, April 25, 2012.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2012</u>	<u>2011</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 6,240	\$ 5,117	21.9%
Benefits and claims	3,646	3,222	13.2
Total acquisition and operating expenses	1,392	1,304	6.8
Earnings before income taxes	1,202	591	103.1
Income taxes	417	202	
Net earnings	\$ 785	\$ 389	101.5%
Net earnings per share – basic	\$ 1.68	\$.83	102.4%
Net earnings per share – diluted	1.68	.83	102.4
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	465,887	468,012	(.5)%
Diluted	468,533	472,104	(.8)%
Dividends paid per share	\$.33	\$.30	10.0%

Certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET**(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)**

MARCH 31,	<u>2012</u>	<u>2011</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$103,104	\$ 88,441	16.6%
Deferred policy acquisition costs	9,542	8,897	7.2
Other assets	2,906	3,015	(3.6)
Total assets	\$115,552	\$ 100,353	15.1%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 93,004	\$ 82,491	12.7%
Notes payable	3,964	3,017	31.4
Other liabilities	4,941	4,335	14.0
Shareholders' equity	13,643	10,510	29.8
Total liabilities and shareholders' equity	\$115,552	\$ 100,353	15.1%
Shares outstanding at end of period (000)	467,463	467,564	—%

Certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2012</u>	<u>2011</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 814	\$ 765	6.3%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(81)	(357)	
Impact of derivative and hedging activities	52	(19)	
Net earnings	\$ 785	\$ 389	101.5%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.74	\$ 1.62	7.4%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(0.17)	(.75)	
Impact of derivative and hedging activities	0.11	(.04)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.68	\$.83	102.4%

Certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31, 2012	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Premium income	10.4%	7.2%
Net investment income	11.0	8.8
Total benefits and expenses	11.3	8.1
Operating earnings	6.3	3.7
Operating earnings per diluted share	7.4	4.9

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

Certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

2012 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2011</u>	<u>Yen Impact</u>
70	\$ 7.06 - 7.25	12.6 - 15.6%	\$.60
75	6.73 - 6.92	7.3 - 10.4	.27
79.75*	6.46 - 6.65	3.0 - 6.1	-
80	6.45 - 6.64	2.9 - 5.9	(.01)
85	6.21 - 6.40	(1.0) - 2.1	(.25)

*Actual 2011 weighted-average exchange rate

Certain prior period numbers have been restated to reflect the retrospective adoption of revised accounting guidance for accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC).

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy generally; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; subjective determinations of amount of impairments taken on our investments; realization of unrealized losses; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular sector or issuer; concentration of business in Japan; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to the Parent Company; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; decreases in our financial strength or debt ratings; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, and radiological disasters; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667, FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com

Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or lkane@aflac.com

###